

東京からこんにちは

静岡市にゆかりがあり、東京を拠点に内外で活躍する皆様に、東京から見た静岡市の良さの可能性、まちづくりの方向について、ご提案いただきます。

「元祖デザイン」 生んだ歴史あるまち

三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社
デザイン技術課長・デザイナー

米沢みどりさん

「使う人の立場で考える」

三菱電機に入社後、デザイン研究所でデザイナーとして同社製品のデザイン開発に携わってきた。空調担当当時には静岡製作所にも出張した。最近では形のある物から、コンセプトやソリューションなど、形のないものへと仕事の領域が広がり、企画段階から営業やエンジニアと連携してプロジェクトに取り組む。

現在勤務している会社は三菱電機グループのIT部門の中核を担う。「システムインテグレーション」という、いろんな製品やネットワークを組み合わせて一つのシステムをつく

り、お客様を通してエンドユーザーに使っていただく。そういうものの、プランニングをしたり、システムのハード、ソフトのデザインを考える仕事をしています」。

手掛けた代表事例は、成田空港の電子案内システムのデザイン開発。同システムは世界に先駆けて設置された三菱電機ご自慢の情報機器。店舗エリアにある、お店の詳細情報がわかる店舗検索端末は、目玉の一つで日英中韓の4か国語に対応し、利用者から好評だ。「デザイナーというのは、使う人の立場で考えるプロフェッショナル。成田では、提案段階から納品まで関わられ、達

成感がありました」。

優しさ、温かさに感動

高校卒業まで8年間を静岡市で過ごした。田辺信宏市長とは高校の同級生。「静岡に来て一番思ったのは人の優しさ、温かさですね」。加えて、静岡の特徴、良さとして次の2つを挙げる。

一つ目は「富士山ですね。静岡の人は皆さん富士山を心のふる里としてすごく大事に思っていて、私も大好きです」。もう一つは、「呉服町、伝馬町といった歴史のある地名や町名が残っているところですね」。

「人柄の良さというのはなかなか表しにくいところがありますが、登呂遺跡や徳川家康など、静岡は素晴らしい歴史、地名を持っているのに、静岡以外の人たちの知名度はまだ低い。そういうところを意識して、まちづくりを進めてほしいですね」と話す。

静岡市生まれの人間国宝で染色工芸家の故芹沢銈介氏に触れ、「元祖デザインそのものです。静岡の強みとして、もっと芹沢デザインをアピールできたらいいなと思います」。

(文写真・長田義明)



Midori Yonezawa

東京都三鷹市生まれ。県立静岡高校卒業。千葉大学工学部工業意匠学科卒業。三菱電機株式会社入社。デザイン研究所で家電、携帯電話などのプロダクトデザイン、情報機器、デジタルサイネージなどのインターフェイスデザインなどを担当。2013年から三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社。デザイナーの立場で航空、通信などのSI提案業務に参画。千葉大学工学部デザイン学科非常勤講師。iFデザインアワードなど多くの著名なデザイン賞を受賞。<http://www.mdif.co.jp>